

寄附講座「地域低侵襲消化器医療学講座」の設置

地域での教育・研究・診療で、地域への還元と医療の発展に寄与

地域低侵襲消化器医療学講座 准教授

石丸 啓

本講座は伊方町からの寄附講座として、教育・研究・診療を行います。消化器外科学に関する教育と以下の4点の研究を行うと同時に、サテライトセンターである伊方町・瀬戸診療所で医療資源の偏在に関する解決策も示していきます。研究内容は、①早期発見・早期の低侵襲治療による包括的医療システム、②低侵襲消化器医療を軸とした消化器病に関する教育システム、③伊方町における特異性を考慮した効果的な医療支援・連携システム、④伊方町でのゲノム医療の開始とその効果に関する調査です。昨年夏から始まった講座は、半年が経ちました。大学での活動は順調にスタートを切りましたが、一方でサテライトセンターでの活動は新型コロナウイルス感染症もあり、当初計画していたことはまだできていないという状況です。この状況が落ち着いていけば積極的に地域に入り、地域の方が求めるものに対して役立てる体制を追求します。地域には生活習慣病の方が多くみられます。予防のための健康講座なども行い、啓発活動にも取り組んでいきます。私の専門性を活かしながら、何かあったとき、すぐに相談できるような役割を目指します。遠慮なく診療所に来てください。



PROFILE

いしまるけい◎1995年浜松医科大学卒業。2014年から愛媛大学大学院医学系研究科消化管・腫瘍学講座に着任。2020年8月より新講座開設。専門は、消化器外科、一般外科、内視鏡外科。消化器、特に消化管を中心に診療。